成果を堂々披露

生涯学習発表会

町内の生涯学習グループが、日ごろの活動の成果を発表する生涯学習発表会が2月21日と22日、サンアートで開催されました。18団体から394人が劇や琴などを披露した芸能発表と芸術グループなどが写真や絵画など385点を出展した展示発表、公民館煎茶（せんちゃ）クラブなどによる茶会が開かれたこの催し。フォークダンスを披露した男性は「健康のためにと始めたダンスが、いつの間にか生きがいとなりました」と充実した様子でした。

笑いが健康のもと

健康教室

笑うことが健康に効果があることを実感してもらうための教室が2月16日、保健センターで開催されました。落語家の雷門喜助さんを講師に迎え「笑いと健康」をテーマに行われたこの教室。「思いっきり笑ってストレスを発散させることが大事」などと話す雷門さんの話に、会場は最後まで笑い声が絶えませんでした。講演後、女性の一人は「とても面白い話で、たくさん笑って健康になったみたい」と顔をほころばせていました。

ゲスト訪問で力が沸いた試合

第5回学校対抗サッカー大会

町内7校の小学5年生以下のチームによるサッカー大会が2月28日、旭グラウンドで開催されました。各チームが一丸となって争い、白熱した好試合が展開されたこの大会。会場には、名古屋グランパスエイトの岡山哲也選手と古賀正紘選手が訪れ、サイン会なども実施されました。天王小の紀普巌君は「ミスが多く、試合に負けて悔しい。プロ選手はかっこよかったです」と話していました。なお優勝は、三好丘小（5連覇）でした。

万博を盛り上げたい

愛・地球博ボランティア説明会

来年の3月25日に開幕する愛・地球博のボランティア説明会が2月26日、教育学習センターで行われました。来場者のガイドなど、延べ1万5、000人を募集するこのボランティアには、現在1万人が登録。参加した53人は、事務局からビデオなどを使った説明を受けた後、積極的に質問していました。ボランティア参加予定の男性は「何かの力になって、万博を盛り上げていけたらいいですね」と意欲を見せていました。

ほしいもの見つかるかな

お買い物ごっこ

桃山幼稚園では毎年、園児の手作りによる商品やお金を使った買い物ごっこを通して、交流を深めるお買い物週間を行っています。今年の週間は、2月23日から3月1日まで。2月26日には、年長児113人が年中、年少児をお客さんとして迎え、店員の体験をしました。おもちゃなど豊富な品ぞろえに園児たちはちょっぴり迷い気味の様子。年長児の男の子は「全部売れてうれしいよ。みんな喜んでくれたよ」と満足そうでした。

友好交流を深める

中国大学生日本社会調査団が来庁

日本の産業や教育について学ぼうと2月23日から3月1日まで、愛知大学の交流校の中国労働関係学院教授の劉玉芳団長をはじめ、学生など13人が来日。25日には、役場を訪問しました。久野知英町長は「友好が一層深まる滞在をしてください」と歓迎。また劉団長は「皆さんの協力で充実した研究に取り組めます」と感謝のことばを述べました。その後学生たちは、丁寧な日本語で自己紹介や抱負を述べ、今後の研究に期待を膨らませていました。